

アンケート調査。

②住宅公団逆瀬川団地において聞き込調査

	調査期日	配布数	回収数	回収率
①	S 41. 8	242 戸	202 戸	83.5 %
	S 42. 1	202	182	90.1
②	S 42. 3	20 戸	20 戸	100 %

3. 高野台、逆瀬川の住宅地別にみると、高野台（公営）では棟方位によってかなり住み心地、使い方に差異がみられ東西向棟では日照の影響を受けていることが分る。逆瀬川では、風向、見晴などの環境の良さがプラスして日常生活上、日照はあまり意識されていない。また、部屋の住み替え、家具の配置については日照によって若干影響を受けているが、公営、公団住宅の狭さから、思うようにできないのが現状である。

C-13 住宅棟方位の居住性に及ぼす影響について

奈良女大家政 ○館 古都子  
扇田 信  
足達富士夫

1. 共同住宅団地が広範に建設されている今日、外部空間が景観や人間形成に及ぼす影響などから建設計画上外部空間計画が重視されるようになった。そして棟配置上種々の試みがされ始め、従来の冬期日照4時間理論に代る新しい理論が要求されてきている。本研究はこれらの試みに対して、住生活の面からアプローチし、棟方位の可能性、限界性を問題にしようとしたもので、そのうち住宅の住み方、住み心地を中心にまとめたものである。なお、本研究の家事作業からのアプローチについてはS42年建築学会近畿支部学術発表会で発表。

2. ①クルドサック方式採用の千里ニュータウン高野台地区の東西南北方位（階段室の方位）の住戸について